

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ザ・イエローハウス		
○保護者評価実施期間	2026年2月2日		～ 2026年3月2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2026年2月2日		～ 2026年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	2026年2月2日		～ 2026年3月2日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性の高い職員が支援にあたっていること。 ・児童発達支援をご利用の場合は、療育の内容や様子を共有しながら支援を行えること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援の職員とも密に連携をとるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士の支援内容の共有を更に密にすることで、多角的な視点で支援をすることができるようにしていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・支援後、定期的に保護者と面談を行い、情報共有を行っていること。 ・必要に応じて、担任だけではなく、主任、特別支援教室担当、スクールカウンセラーなどとも面談を行い、情報共有を行っていること。 ・必要に応じて相談支援事業所とも密に連携を取っていること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて児童の様子を書面でまとめ、各機関と情報共有するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も保護者から許可を得られた場合は、児童に関わる職員と積極的に情報共有を行っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・人員が少なく待機が多いこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度人員を1名追加し対応しているが、更なる訪問支援員の確保に至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き専門性の高い訪問支援員の確保に力を入れていく。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 ザ・イエローハウス

公表日 2026年 3月 15日

利用児童数 5

回収数 3

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	2			1		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	3					
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	3					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	3					
適切な 支援 の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	3					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	3					
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	3					
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	3					
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	3				・訪問の際の子どもの様子を丁寧に伝えてくださっています。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3				・フィードバックの際にじっくり話すことができ相談できるので助かっています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3				・子どもの気持ち、親の心情にも寄り添った支援をしてくださっています。 ・いつも寄り添い支援いただきとても心強いです。	
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3					
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3						

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	3				
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	3				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	3				
非 常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3				
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	3				
満 足 度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3				
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	3				・理解してくれており、挨拶（おじぎ）もできています。
	28	事業所の支援に満足していますか。	3				・訪問の際に子どもの様子をしっかりと見て下さり、担任の先生も気付いていなかった状況などを先生に伝えて対応を話し合ってくださいることもあり、安心につながっています。 ・大変満足し、ありがたく思います。
						・アンケートを記載いただいたみなさま、ありがとうございました。これからはよりよい園・学校生活に向けた支援を心がけていきますので、引き続きよろしく願いたします。	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2026年 3月 15日

ザ・イエローハウス

利用児童数

5

回収数

4

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3	1		観察でお気づきのところをわかりやすく伝えてもらえた。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3	1			
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3	1			
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1	3		保護者への働きかけをしてくれてありがたい。児童はなかなか改善ともいえないが、課題を共有できたことは良かった。	
5	事業所からの支援に満足していますか。	3		1		
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援が入ることで、児童本人、保護者の様子、成育歴などの話を聞けて、多方面から児童理解ができることは、とてもメリットがあると思う。強めの特性を、学級の中でどう生かし、どうフォローするか、一緒に考えられる相手がいるのは担任として心強い。今後ともよろしく願います。 ・児童の実態に合った具体的な指導方法を知りたかった。 ・いつも支援をしてくださりありがとうございます。本当に助かっています。今後ともよろしく願っています。 					<ul style="list-style-type: none"> ・訪問先の先生方が、児童の特性や関わり方について一緒に検討した内容を、日々の保育や学級運営の中で実践してくださっていることを大変ありがたく感じています。何か関わりを変えていくことで変化があるものではありませんが、先生方と話し合いながら、共によい方向に向かっていけたらと考えております。 ・今後も、児童の実態に応じた具体的な関わり方や環境調整の方法について共有しながら、訪問先の先生方と一緒に支援を考えていけるよう努めてまいります。 	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ザ・イエローハウス		公表日		2026年 3月 15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 制 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	2	・希望者が多く、待機の方がいる状態になっている。	・訪問支援員の配置を増やしていくことを検討する。	
業務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3				
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3				
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3				
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3		児童発達支援を併用しているお子さんについては、ニーズに応じて発達検査を実施し、客観的な結果を踏まえた上で支援計画を作成している。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3		・日頃から訪問先の先生とはコミュニケーションをとっているため、面談の内容が支援計画に反映されるようにしている。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3				
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1	・支援終了後に打ち合わせを行っているため、特別なことがない限りは事前の打ち合わせはしていないが、必要に応じて打ち合わせを行うことはある。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		・児童発達支援を利用している利用者については、児童発達支援の担当者とも密に連携し、よりよい支援につなげている。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3		・訪問支援員の意見を押し付けるのではなく、訪問先の理念や環境を踏まえた上でできる支援について提案するように心がけている。		

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3			・相談支援事業所などと連携し、関係者会議の開催、担当訪問支援員が参加した。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	1		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3			・支援後に保護者と面談する機会を設けており、必要に応じて情報提供等を行っている。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3			・丁寧に読み合わせ、説明するようにしている。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3		・現在、訪問支援を行っている保護者向けの保護者会は開催していない。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	3		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			・訪問日を口頭のみでなくメールや紙に書いてお渡しする、児童発達支援の職員にも訪問日を周知することで、ご質問があった際にすぐ回答できるようにするなどした。
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3			

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3		・支援直後がお忙しい時間帯の場合は、フィードバックのために再訪するなどして対応している。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			・個人情報のダブルチェック体制を確立し、間違いが発生しない体制にしている。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			・ヒヤリハットやインシデントが発生してしまっただけでは、訪問支援員だけでなく児童発達支援の職員にも内容および再発防止策を共有している。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3			